

東京大学演習林生産素材・買い付け材を大事にします。



ナラ原木 No.5125 340 x 62



ナラ原木 No.5477 640 x 54



マカバ原木 No.5127 340 x 62



マカバ No.5462 480 x 60



ホオ No.5459 500 x 50



セン No.5481 680 x 50



セ ン No.5483 800 x 46



セ ン No.5489 940 x 46



セ ン No.5491 940 x 52



2022年1月28日に開催された旭川林産協同組合第452回北海道産銘木市売りにて弊社が落札した東京大学演習林の生産材ですが、このような天然の森林は北海道中に点在していました。服部商店は主に日高山脈の森林の恵みであるカツラ材で多大な恩恵を受けてきました。服部商店の礎は、日高のカツラ材でできたと言っても過言ではありません。

ところで、昨年から始まった木材の超高騰、所謂ウッドショックが針葉樹から広葉樹に移行しています。価格高騰もあり

ますが、最も困っていることは原料の超不足現象です。道内の製材工場は、2022年夏頃に軒並み原料不足に見舞われるのではないかと危惧されています。以上のような状況を打開する為に、長い年月伐採の大幅な制限処置を取っている国有林の伐採に救いの道を求めています。下記の事で、そう簡単に供給不足は解消しないと思います。

- 1、昔行われた過伐採がまた起きるのではないかと。という心配が国有林側にあります。
- 2、木を伐採する業者が激減した為に簡単に供給は増やせない。
- 3、生活必需品を含めたインフレが発生しかけている現状、木製品の価格高騰は代替え材に変わる可能性がある為に生産者は積極的になりにくい。
- 4、もはや北海道には木は無い。かも知れません。



服部商店、服部雅章は以下の様に考えます。

意図的な政策は成功しない。あくまで需給バランスで物事を判断すべきだと思います。

日本国内の800万戸の空き家対策もできていない状況を再確認すること。その上で新築万能主義からリニューアルが基本の住宅政策に、木材業界・建設業界・不動産業界等の利害関係を越えた新しい仕組みを考え実行して欲しいと思います。

例えば築40年以上経過して、大規模なリニューアルをした住宅には土地に関する固定資産税を20年間免除するとか、抜本的な空き家対策をしながら、新しい日本の住宅政策に取り組んで欲しいと考えます。そうすれば、国内の木材資源（天然林・人工林）を最大限活用できると考えます。

木材を大事にする心は日本人に有りますが、現在の日本国の経済政策は土建国家その物です。それをSDGsの考え方【持続可能な開発目標】に沿った政策に大幅に変更すべきです。土建国家から文化国家に変身することこそコピット19後の新しい日本人の生き方だと思います。

(株)服部商店 半期決算

大売出しのお知らせ

< 2022年3月1日～3月31日の期間 >

(株)服部商店のホームページ掲載商品をご購入頂いた方に感謝を込めて販売致します。

必要な商品を是非この機会に

3月1日～3月31日

ダイヤモンド会員	10%+5%=15%
プラチナ会員	7%+5%=12%
ゴールド会員	5%+5%=10%
シルバー会員	2%+5%=7%
ブロンズ会員	1%+5%=6%
非会員	5%オフ

*カード決済の場合は割引不可です。

*取り置きサービスとの兼用は不可です。

*お手形の方はご遠慮頂きます。

*月末締め翌月お支払いをお願いします。

*ご来社頂きご購入の場合も、在庫確認はネットで行って下さい。

*ご来社前に必要な商品の御連絡をお願いします。